

ボローニャ大学への協定留学(交換留学)の月例報告書(2022年12月)

星茉奈佳

【初めまして】

皆さん、こんにちは。文化政策学部 国際文化学科4年の星茉奈佳です。今月から月例報告書を書かせていただきます。例年より少し出発が遅れてしまいましたが、この機会を全力で楽しみ、そして素晴らしい経験をたくさんして、皆様にお伝えできるよう努めます。よろしくお願いいたします。

【日本出発からアパートに着くまで】

11月27日の夜に家族に見送ってもらい、28日の朝にボローニャに着きました。外川内さんと土居さんが空港でお出迎えをしてくれて、とてもほっとしました。そのあとは先にボローニャで生活していた3人がチェントロを案内してくれました。夜ご飯も食べて解散し、私はホテルに泊まりました。アパートの入居が12月1日からだったので、それまで3泊4日のホテル暮らしをする予定でした。

ところが、私は結果として12月6日に入居することになりました。入居の際に必要な書類を12月1日までに揃えることができなかったからです。ホテルの宿泊日数を延ばしたり、アパートの管理会社に連絡したり、ハラハラしましたが無事に6日にアパートに住むことができました。前もって出発していたつもりだけなのに、これは12月の中で一番予想外の出来事でした。

空港でお出迎えしてくれた際の写真。



【12月の過ごし方】

無事にアパートに入ってから、買い物に行ったり、お出掛けに誘ってもらって出かけたりしました。12月はハウスメイトとの同居、食生活、コミュニケーションなどいろいろな面においてイタリアに「慣れる」ための月となりました。

アパートにはポーランド人の女の子と中国人の男の子が住んでおり、基本的に会話は英語ですが、イタリア語で話すとイタリア語で返してくれます。2人とも優しく、私が言葉を間違えて謝っても、失敗することは大切だと何回も言ってくれます。

勉強については、自宅で参考書を読んだり問題集を解いたり、歴史の授業に出席したりしました。英語の授業を受けるのは久しぶりで、とても緊張しました。紹介された人物がわからず、内容を聞き取るのに精一杯でしたが、これからこのスタイルが普通になるのだと思うと、身の引き締まる思いになりました。

また、クリスマスは友人と教会にミサを見に行きました。たくさんの方が熱心に神父様の話を聞

いている様子は、宗教に関心が薄かった私も厳かな雰囲気を感じ取り、その場の空気に飲み込まれていました。そしてこの日は、イタリアの伝統的なお菓子であるパネトーネとパンドーロを食べました。また、数日後には一緒にボルツァーノに出かけました。ボルツァーノはクリスマスマーケットが有名らしく、クリスマスの飾り、ご飯、手作りのグッズなどを売る店がたくさん出店されており、その場で買い物をしました。ボルツァーノに限らず、日常的に買い物をする際使う言葉はもちろんイタリア語なので、通じるかどうか不安はありましたが、簡単なやり取りでもしっかり伝えることができました。クリスマスマーケットだけではなく、ボルツァーノのドゥオーモの中に入り、とても繊細に作られたプレゼピオを見たり、ロープウェイに乗ってソプラボルツァーノの自然を堪能したりしました。

【これからのこと】

12月は実際にイタリア人とイタリア語を話す機会が少ないように感じていたので、1月はイタリア語を話す機会をもっと増やしていきたいです。



ボルツァーノの
ツリーと教会と
プレゼピオ (左)
ドゥオーモの中
(左)